

本会記事

平成30年度秋季大会報告

平成30年度秋季大会は、10月30日（火）～31日（水）の2日間、朱鷺メッセ新潟コンベンションセンターにおいて行われました。新潟での開催は初めてでしたが、大勢の方にご参加頂きました。今大会の講演件数は、受賞記念講演4件、特別講演2件、招待講演4件、一般講演118件の合計128件、例年よりやや講演件数が少なく2日間の開催で参加者が少ないのではないかと心配しておりましたが、参加者数は約400名で、沢山の方にご参加頂きました。会場の朱鷺メッセ新潟コンベンションセンターは駅からも近く、また講演会場の前に展示会場を設け、ワンフロアで大会が開催でき、講演者、参加者、展示出展者の方にとって、とても使いやすい会場でした。大変多くの方にご参加頂き、各セッション会場は全日全会場大盛況でした。

以下にこの大会の概要を報告します。

○ 講演大会

2日間の講演発表は、以下の通りです。

1日目は、講演特集「磁性材料・磁気デバイスにおける微細構造制御と機能発現」、 「自動車焼結部品の現状と今後の展開」、企画セッション「熱電変換材料-実用化へ向けてのステップ-」が、また2日目は、講演特集「硬質材料の今後の発展のための技術・研究進展」、 「粉末積層3D造形技術における課題と最先端研究」企画セッション「粉末、混合、成形、焼結等のシミュレーションの発展」がありました。2日間を通して、どの会場も終日満員でしたが、特に、粉末積層3D造形技術の東北大学名誉教授の榎本兵治先生の特別講演「金属粉末とその積層造形における粉じん爆発危険性」では、開始時刻のギリギリに来られた方は、会場に入れないほどの盛況ぶりでした。危険だと思っていないときに起こる爆発の危険性について大切な講義を頂きました。



○ 懇親会

懇親会は、140名の参加者を得て大会初日の30日にホテル日航新潟で行われました。宮原実行委員長の開会の辞に始まり、林会長にご挨拶頂き、続いて、今大会にご発表頂いたKPMI（Korean Powder Metallurgy Institute）のKIN Hyoung Seop会長にご挨拶を頂きました。引き続き三浦秀士元会長のご発声で乾杯を行い、食事、歓談が進みました。今回は、米所新潟ということもあり、「酎酒」のイベントを行いました。5種類の酎酒に皆さんほろ酔いで挑戦しておられました。イベント参加者の方は、何問正解しているのかな？と、名前を呼ばれるのを待っていらしゃったのではないのでしょうか？いつもと違った趣で楽しいイベントとなったと思っております。お酒を飲みすぎて味がわからなくなった！というお声もチラホラと聞こえましたが、新潟郷土料理の栃尾の油揚げ、へぎそば、のっぺい汁やかきのもと等もあり、和やかで楽しい懇親会となりました。大会ご参加の皆さんは懇親会にも是非ご参加下さい。



今回2日間の開催となりましたが、参加者の方々からは、2日開催は参加しやすいとお声も頂戴しました。来年度の講演大会は、春は6月4日～6日に、東京工業大学すずかけ台キャンパスで行い、秋は、10月22日～24日の3日間を名古屋大学で開催を予定しています。講演募集等ご案内をしますので、多くの会員方に発表と大会参加を頂きますようお願いいたします。

（吉田泰子）